



今回は、「本校の自立活動の指導」について、各学部での実践を紹介します。生活単元学習や各教科等（学校の教育活動全体を通しての指導）で、意図的に自立活動の指導が実践されています。ご確認ください、今後の実践につなげていただければと思います。

本校の自立活動の指導

各教科等を合わせた指導で自立活動の指導を行う場合

各教科等と自立活動を一部又は全部について合わせて指導を行うことによって、一層効果の上がる授業を行う場合には、**自立活動の指導目標を設定した上で指導**を行うことはあり得る。

「特別支援学校学習指導要領解説 総則編（P188）」より

☆このことから、各教科等を合わせた指導では、**自立活動の指導目標を設定して指導**（自立活動の時間における指導と同様の指導）を行うことができることが示されています。

本校の教育課程では、上記のことや児童生徒の実態等を考慮し、「**自立活動の時間の指導**」について年間34～35時間を確保し、**各教科等を合わせた指導の中で指導**していくこととなっています。また、**学校の教育活動全体を通して指導**することにもなっています。（本校教育計画参照）

自立活動の実践事例

小学部1年2・3組の実践 生活単元学習『秋祭り』



【自立活動の指導区分】

- 4 環境の把握
- 5 身体の動き

<指導目標・内容> 「ワニ」をハンマーで素早く叩く活動を通して、注意を持続させながら対象物に注目して、対象物の位置を意識して目と手の協応動作や敏捷性の向上を図ることができる。

小学部3年2・3組の実践 生活単元学習『みんなであそぼう』



【自立活動の指導区分】

- 3 人間関係の形成
- 6 コミュニケーション

<指導目標・内容> 後ろの友達や次に取り組む友達にボールを渡す活動を通して、相手にとりやすく手渡すことや相手との距離感を意識すること、相手とのやりとりの楽しさを知りコミュニケーションの基礎的な力を高めていくことができる。

自立活動の実践事例

小学部 4・5 年 2 組の実践 生活単元学習『2 組うんどうかい』



【自立活動の指導区分】

3 人間関係の形成

5 身体の動き

＜指導目標・内容＞ 足形に注目することで、右足、左足と協調させてスムーズに動かすことができること、教師が手を引くタイミングに合わせてジャンプすることを通して他者からの働き掛けを受け止めそれに応じようとする力などを育むことができる。

中学部 1、2 学年の実践 国語『しりとりをしよう』



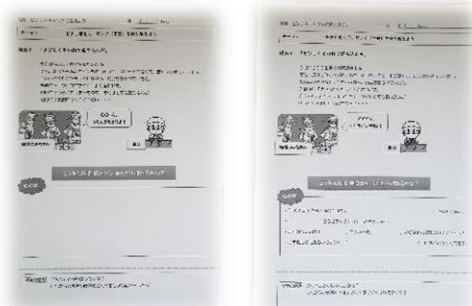
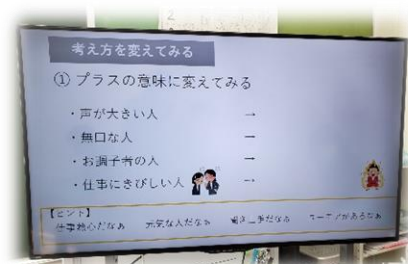
【自立活動の指導区分】

3 人間関係の形成

6 コミュニケーション

＜指導目標・内容＞ しりとりによる「ことば遊び」を通して、単語カードと絵カードを結びつけて語彙を増やしたり、ことばのやりとりを楽しんだりして、他者とのかかわりの基礎やコミュニケーションの基礎的な能力を身に付けていくことができる。

高等部 3 学年の実践 職業『ピンチをチャンスに変えよう』



【自立活動の指導区分】

2 心理的な安定

3 人間関係の形成

＜使用したワークシート＞
実態（グループ）に応じて 2 種類のワークシートを用意した。答えにたどり着くヒントが書いてあるもの（穴抜き）を用意した。



＜指導目標・内容＞ 職業の授業で、働く場面での自己の課題に向き合う学習を、自立活動と関連させて実践した。小さな失敗やつまずきに対して不安を強く感じる生徒に向けて、リフレーミングの視点をテーマとして取り入れて問題解決につなげていくことができる。